

第 226 回 日本経営倫理学会・理念哲学研究部会の議事録

部会長 村山元理

日時 平成 29 年 12 月 25 日 (第 4 月曜) 18:00~20:00

場所 企業家ミュージアム (東京都千代田区外神田 2-2-19, 2F)

参加者 宇佐神、佐藤、山本、古山、辻井、望月、大塚、新川、村山、9 名

欠席届 長塚、緒賀、井上

討議事項：継続審議『21 世紀の経営倫理』

参考資料：間嶋崇「専修大学の経営倫理の講義」『経営倫理』No. 86, 2017 年：倫理とは何かについて
西洋倫理学史で 15 回、倫理の実践 (社会体制・企業内) で後半 15 回。

- ・ CSR 研究部会で 3 冊の書籍出版成功の理由として実践性がある点。そのため企業研修で広く利用。
- ・ 倫理の原則はシンプル：例えば、「嘘をついてはならない」等、管仲の『管子』には「倉廩満ちて礼を知り、衣食足りて榮辱を知る。」とあるごとく。
- ・ 経営倫理の課題：従業員、顧客などステイクホルダーとの関係
- ・ 不祥事の原因は、東芝の場合、トップによる現場担当者への無理な命令。リーダーシップのあり方の問題。体系的に最近の経営者論の視点を出したらどうか。組織の上下の問題。
- ・ 上田淳史は経団連にいて、ドラッカーを翻訳。ドラッカー学会設立まで 50 年かかった。
- ・ 陽明学の立場 格物致知 性即理 心即理。 実践性に重きがある。 ←行動、エゴの正当化では。
- ・ カントの義務論 (deontology) , 義務という言葉が誤解をまねてはいないか。この場合「兵役の義務」の義務とは異なり、上からの命令によるのではなく、内発的必然性という意味である。オランダのさる経営倫理学者は、duty ではなく necessitation という英語と提案していた。
- ・ Norman Bowie: I am a Kantian. Ethics makes money.
- ・ 和辻、金子倫理学：日々の要求という視点から。
- ・ 学問は大別して、倫理学と物理学。エリクソンの人格発達の階梯からは西欧人は子供の段階。ものを奪い合う段階。
- ・ 倫理学の歴史、利益の問題は正面から取り上げていない。
- ・ 誰が買うのか：大学生向け副読本で。体系的知識も入れて。

今後の予定 毎月第 4 月曜日

場所 企業家ミュージアム (東京都千代田区外神田 2-2-19, 2F)

平成 30 (2018) 年

1 月 22 日 18:00-20:00 出版計画の見直し、同友館の鈴木良し二部長招聘へ

2 月 26 日 18:00-20:00 望月「出版報告」

以上